



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月10日

上場会社名 株式会社トランザクション 上場取引所 東
 コード番号 7818 URL https://www.trans-action.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 諭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北山 善也 TEL 03-6861-5577
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績（2019年9月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	4,495	6.6	665	10.5	666	9.3	440	3.0
2019年8月期第1四半期	4,219	6.0	602	19.8	610	20.3	428	28.5

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 520百万円 (10.0%) 2019年8月期第1四半期 473百万円 (30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	15.22	—
2019年8月期第1四半期	14.96	14.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	11,399	8,614	75.6
2019年8月期	11,425	8,462	74.1

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 8,614百万円 2019年8月期 8,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,771	7.7	1,080	3.6	1,087	3.0	724	2.1	24.93
通期	17,602	7.0	2,271	11.0	2,283	10.1	1,518	17.9	52.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期1Q	29,375,400株	2019年8月期	29,375,400株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	194,840株	2019年8月期	635,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期1Q	28,979,462株	2019年8月期1Q	28,630,650株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「成長戦略・効率化戦略・経営基盤強化」を基本方針として掲げ、2019年10月10日に公表した2020年8月期を初年度とする3ヶ年の「トランザクショングループ中期経営計画(第3次)」の達成に向けて、魅力ある新製品の開発、成長事業の強化、製造原価の低減等の取り組みを進めました。当年度も引き続き、以下の3つのプロダクトを成長戦略の重点テーマとして注力しております。

- ・「エコプロダクト」・・・モノづくりを通じて地球、そして未来へ貢献する製品の提案
- ・「ライフスタイルプロダクト」・・・多彩なコト消費を起点とした製品の提案
- ・「ウェルネスプロダクト」・・・健やかな生活を実現するために健康リスクを低減する製品の提案

「エコプロダクト」では、環境問題に対する関心の高まりから、オリジナル製品の主力カテゴリーであるエコバッグやタンブラー・サーモボトルの売上が引き続き好調に推移いたしました。エコバッグについては、2020年7月からすべての小売店を対象としてレジ袋有料化が義務付けされることを背景に、様々な施策により取り組みを強化いたしました。また、エシカルブランド「MOTTERU」では、2020年1月から販売を開始する新製品「ポケットスクエアバッグ」が、これまでにないポケットチーフ感覚のコンパクト性を評価され、2019年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。タンブラー・サーモボトルについては、プラスチックゴミによる海洋汚染の最大要因となっているペットボトル対策として、使い捨てを使わない「マイボトル」への取り組みを強化いたしました。

「ライフスタイルプロダクト」では、多様化する「コト」消費のなかでも、さらなる需要が見込まれるエンタテインメント業界において、ライブ、フェス、アニメ、映画、テーマパーク等の物販品の受注拡大に向けた取り組みを推進し、新規顧客の開拓と既存クライアントの深耕を図ってまいりました。また、2020年2月に通算30回目の開催を迎える「東京ガールズコレクション」の各種物販品や販売促進物の企画・製作に向け、運営会社である株式会社W TOKYOとの協議を重ね、両社のシナジー最大化への取り組みを進めております。トラベル関連製品では、オリジナルブランド「gowell」が展開する「極上トラベルギアシリーズ」において、「低反発ピロー“かるラクーン”」が、本格的な低反発クッションで使い心地の良さを保ちつつも、コンパクト性に優れた点を評価され、2019年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。年末年始の旅行シーズンに向けた同製品の販売強化を図るとともに、「ポケモン・トラベル」などのライセンス製品における新製品の開発を進めております。ペットウェア・関連製品においては、世界20か国以上で展開している英国発祥のライフスタイルブランド「LAURA ASHLEY(ローラ アッシュレイ)」とサブライセンス契約を締結し、新たなターゲット層を開拓すべく2019年10月から新製品の販売を開始いたしました。

「ウェルネスプロダクト」では、次世代タバコにおいて、直営店舗である「vape studio」の2店舗について営業を終了し、WEB販売と卸売販売へ注力することで、収益性の強化に努めました。

すべてのプロダクトに共通するEC事業では、各サイトにおいてSEO対策、広告の強化、製品の拡充、利便性の向上を図るとともに、WEBマーケティングを強化し、集客力及び購買数の向上に努めました。

一方、生産面においては、中国及びその他アジア諸国における生産拠点の最適化を推進し、価格面と品質面で安定的な製品調達を継続いたしました。また、2019年7月に竣工した印刷・加工・検品の最終工程を行う新工場においては、工場規模の拡大に伴うパートタイマーの人材確保と教育に注力し、工場のフル稼働に向けた体制構築に努めました。

販売費及び一般管理費につきましては、当第1四半期の一時的な費用として従業員持株ESOP信託の精算費用48百万円が発生したため、前年同期に比べ73百万円増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、44億95百万円(前年同期比2億76百万円、6.6%の増加)、営業利益は、一時的な要因により販管費の増加があったものの、売上高の伸長による売上総利益の確保及び利益率の改善により6億65百万円(前年同期比63百万円、10.5%の増加)となり、経常利益は6億66百万円(前年同期比56百万円、9.3%の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億40百万円(前年同期比12百万円、3.0%の増加)となりました。

当第1四半期連結累計期間における販売経路別及び製品分類別の販売実績は、以下のとおりであります。

<販売経路別販売実績>

販売経路	売上高		増減	
	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エンドユーザー企業向け事業	2,118	2,248	129	6.1
卸売事業者向け事業	1,690	1,838	147	8.7
E C 事業及び小売り事業	410	408	△ 1	△ 0.3
合計	4,219	4,495	276	6.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

<製品分類別販売実績>

製品分類	売上高		増減	
	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
一般雑貨製品	2,401	2,273	△ 127	△ 5.3
エコ雑貨製品	1,498	1,857	359	24.0
ヘルスケア&ビューティ雑貨製品	267	291	23	8.9
デザインその他	51	73	21	41.1
合計	4,219	4,495	276	6.6

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 デザインその他は、グラフィック・プロダクト・WEBデザインの受託業務や印刷業務等の雑貨製品に該当しないものであります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少し、82億35百万円となりました。主な要因は、有価証券の減少2億53百万円、受取手形及び売掛金の増加59百万円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加し、31億64百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産の増加2億14百万円、有形固定資産の増加11百万円、無形固定資産の増加3百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億95百万円減少し、20億73百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少2億59百万円、賞与引当金の減少59百万円、買掛金の減少59百万円、預り金を含むその他の増加2億8百万円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、7億11百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加10百万円、退職給付に係る負債の増加8百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億52百万円増加し、86億14百万円となりました。主な要因は、従業員持株E S O P信託の終了により自己株式が減少したことによる増加97百万円、繰延ヘッジ損益の増加46百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、2019年10月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,810,079	2,583,169
受取手形及び売掛金	2,251,053	2,310,206
有価証券	547,046	293,849
製品	2,490,824	2,537,060
その他	392,346	511,669
貸倒引当金	△481	△430
流動資産合計	8,490,867	8,235,524
固定資産		
有形固定資産	1,173,146	1,184,283
無形固定資産		
その他	63,461	67,171
無形固定資産合計	63,461	67,171
投資その他の資産		
投資有価証券	595,218	877,936
その他	1,107,699	1,039,572
貸倒引当金	△4,921	△4,921
投資その他の資産合計	1,697,996	1,912,587
固定資産合計	2,934,604	3,164,041
資産合計	11,425,471	11,399,565

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	925,465	866,301
1年内返済予定の長期借入金	277,812	253,531
未払法人税等	472,602	213,042
賞与引当金	149,973	90,323
株主優待引当金	15,736	15,736
ポイント引当金	8,509	7,115
その他	419,038	627,327
流動負債合計	2,269,136	2,073,377
固定負債		
長期借入金	340,471	350,946
退職給付に係る負債	307,025	315,928
資産除去債務	41,009	39,450
その他	5,100	5,100
固定負債合計	693,605	711,425
負債合計	2,962,742	2,784,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,222	93,222
資本剰余金	3,288,953	3,288,953
利益剰余金	5,301,017	5,275,101
自己株式	△246,844	△148,908
株主資本合計	8,436,349	8,508,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,645	7,301
繰延ヘッジ損益	4,046	50,235
為替換算調整勘定	21,726	38,781
退職給付に係る調整累計額	9,252	10,075
その他の包括利益累計額合計	26,380	106,393
純資産合計	8,462,729	8,614,763
負債純資産合計	11,425,471	11,399,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	4,219,135	4,495,636
売上原価	2,620,847	2,760,732
売上総利益	1,598,287	1,734,903
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	347,445	346,475
賞与引当金繰入額	68,079	75,791
退職給付費用	13,373	13,330
貸倒引当金繰入額	△1,174	△50
ポイント引当金繰入額	309	△1,394
その他	568,131	635,235
販売費及び一般管理費合計	996,164	1,069,388
営業利益	602,123	665,515
営業外収益		
受取利息	49	529
有価証券利息	6,284	6,097
受取保証料	1,733	—
助成金収入	1,080	—
その他	461	246
営業外収益合計	9,608	6,874
営業外費用		
支払利息	598	686
自己株式取得費用	327	—
為替差損	564	4,948
その他	51	3
営業外費用合計	1,541	5,638
経常利益	610,189	666,750
特別利益		
固定資産売却益	183	—
受取保険金	1,315	152
その他	0	—
特別利益合計	1,499	152
特別損失		
固定資産売却損	1,374	—
減損損失	13,087	—
固定資産除却損	0	2,828
特別損失合計	14,462	2,828
税金等調整前四半期純利益	597,226	664,075
法人税、住民税及び事業税	139,374	184,157
法人税等調整額	29,610	38,945
法人税等合計	168,984	223,103
四半期純利益	428,241	440,972
親会社株主に帰属する四半期純利益	428,241	440,972

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	428,241	440,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,413	15,947
繰延ヘッジ損益	26,962	46,188
為替換算調整勘定	8,472	17,055
退職給付に係る調整額	1,461	823
その他の包括利益合計	45,310	80,013
四半期包括利益	473,552	520,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	473,552	520,986
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。